



大井第一小学校

同窓会 会報22号

発行責任者 大野 正恒

令和2年7月

おめでとう開校145周年 卒業生20,000名突破

第12回 同窓生の集い

鹿嶋神社祭礼の日、懐かしい「大井第一小学校」に集まろう!!
会合・集合場所としてもご利用ください。

日時：令和2年10月18日(日) 11時～15時

会場：大井第一小学校 1階 多目的室

講演：「大井町今昔」 講師：平林幹夫同窓会副会長

大井第一小学校に着任して

副校長 加藤 高嗣



はじめまして、この度、大田区立高畑小学校より異動してまいりました加藤高嗣（かとうたかつぐ）です。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応により、臨時休校からのスタートでした。まさに前代未聞の事態でしたが、辛うじて始業式・入学式で子どもたちと会うことができました。しかし、この一日の出会いだけでも、大一小の子どもたちの素晴らしさを感じることができました。それぞれの式での様子、校長先生はじめ、その場その場での教員の話を中心して聞いている姿に、健やかに成長していることが窺われ、再会の日が楽しみになりました。

また、今回のような異例の新年度スタートに際しても、大一小の保護者の皆様のご対応とご協力にも、大変感謝したいと思います。そうした保護者の方々の力が、代々積み重なって大一小の伝統は築かれています。

この度の子どもたちの立派な姿は、まさに伝統の力、同窓生から現役生

まで受け継がれてきた大一小の良さの表れだと感じました。改めて、伝統ある大井第一小学校の教職員として、教育活動の一端を担っていくことの責任を感じております。よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの影響で 休校中の学校の様子と対応

児童は、3月3日から5月31日までの約3か月の間、卒業式・終業式・始業式・入学式の他指定された登校日以外は、午前中は原則自宅に在ることになっています。午後からの校庭開放には100名弱の児童が来校したり、また、すまいるスクールは多少の制限を設けて通常通り行われています。教職員は毎日、職務を遂行しています。一学期に予定されていた行事は、中止や延期となり、運動会も今のところ秋に延期になる予定です。先生方もスケジュールの調整等でも忙しくされています。

この会報が発行される7月下旬は本来、夏休み期間中ですが、今年は期間が短縮される可能性があります。 (会報委員会)



学校支援の取り組み

校区教育協働委員

同窓会副会長 住友 光男

皆さんは小学校時代にPTA (Parent-Teacher Association) の名前を聞いたことがあると思います。PTAは家庭と学校が協力し合って教育効果をあげようとする学校単位に結成された教育組織です。PTAは現在も様々なサポートをしています。品川コミュニティ・スクールと同窓会の関わりについて紹介します。

品川コミュニティ・スクールとは、学校と地域が連携して、子どもたちを育てていく仕組みのことで、保護者、地域住民、学識経験者が学校運営に参画することにより、学校と地域住民が一体となって、継続性を保ちながら教育活動や児童・生徒の健全育成に取り組むもの(品川区HPより)としています。つまり、家庭だけでなく地域を巻き込んだ活動をするにより学校の教育活動を充実させようとするもので、平成30年度から大井第一でも取り組んでいます。

コミュニティ・スクールの組織は学校運営に参画する「校区教育協働委員会」と学校支援を直接行う「学校支援地域本部」の二つに分かれます。「校区教育協働委員会」は保護者や卒業生、地域の人などが構成メンバーですので、同窓会も大きく関わっています。

具体的な活動は以下の4つです。

● 学校運営の基本方針を承認する
学校が立案する年度活動方針の説明を受けて承認する

● 教育活動の評価をする
評価項目は、「学力に関すること」「人間性や社会性に関すること」「体力・健康に関すること」「いじめ防止の取組に関すること」「特色ある教育活動に関すること」の5項目です。これらは、教職員が自己評価をした結果や各種資料を基に話し合いをして評価しています。学力に関しては理科が課題として継続的にあげられています。

● 区費教職員等に活用に関する意見を述べる
多くの教職員は東京都の公務員で区内での転勤がありますが、品川区では区内限定勤務の「区固有教員」と呼ばれる独自の教員を採用しています。区の職員ですから、委員会としても意見を述べる事ができるとのことです。

● 学校支援の活動の企画・調整をする
昨年は佐々木委員長(明海大学教授)の指導の下「ビブリオバトル」を提案し図書委員会活動時に行われました。今後は、授業へ拡大していく予定です。

● ビブリオバトルとは
本の紹介コミュニケーションゲーム「人を通して本を知る。本を通して人を知る」がキャッチコピー(知的書評合戦、ビブリオバトル公式ウェブサイトを参照)

今回は、「校区教育協働委員会」の紹介を行いました。同窓会とし

ては「大1まつり」「昔遊び」など様々な活動に取り組んでいます。これからも同窓会として「学校支援地域本部」へのボランティア活動支援など幅を広げていければと考えています。皆さんのご協力をお願いします。

令和2年度の教職員の異動

I 転出

副校長 小山 努

(品川区立第四日野小学校へ)
主任教諭 井上 勉

(江東立豊洲北小学校へ)
主任教諭 橋田ひかり

(品川区立鯉浜小学校へ)
主任教諭 清原 睦美

(杉並区立四宮小学校へ)
教諭 今井 信明

(町田市立成瀬中央小学校へ)
教諭 宮田 崇

(港区立麻布小学校へ)
教諭 轟 麻美

(江戸川区立本一色小学校へ)
教諭 畦地 安美

(港区立御成門小学校へ)
すまいるスクール 清水 明代

(品川区子ども育成課へ)

令和元年度の児童の活躍

第3回極真空手道国際ジュニア・ユース空手道選手権大会

8・9才男子の部マイナス25kg 3位

8・9才男子組手優勝・型準優勝

3年松組 高橋 聖

柳村公英先生を偲んで

平成3年松組卒 内藤 崇

同窓会会報21号で柳村先生が亡くなったことを知りました。1年生から2年生になる時に人数が減り4クラスから3クラスになった関係で、柳村先生は、私の2年生の時のみの担任でしたが後々の私の人生に大きな影響を及ぼした先生でした。



当時の柳村先生
クラス担任の発表時に一目見たときは、体格もいいし色黒で怖そうな先生だなと思った(失礼!) ことを覚えています。その印象はすぐに変わり、授業も楽しく、また休み時間は児童と一緒に全力で遊んでくれて、大変児童思いのいい先生でした。今となってはいい思い出となっています。

休み時間にサッカーをやっていた時に、大一ファイターズに入れと誘われ、そこから自分のサッカー漬けの人生が始まりました。3年生から始めたサッカーも、小中高大と続け、40歳を越えた現在もまだ続けています。また審判免許も取得し活動を行っています。あの声をかけられたことは、今でも鮮明に覚えています。先生、1年間でしたが本当に楽しい学校生活をありがとうございました。自分はまだサッカーを続けていますよ!

先生のご冥福をお祈りいたします。

栗田先生を偲んで

元PTA会長
昭和37年星組卒 渡邊 章



第23代 栗田敦子校長
平成2年～7年度

栗田先生の訃報を聞き、先生と一緒にPTAで活動した事が思い出されます。

私がPTAに携わった中では、120周年の周年行事と研究学校として行った研究発表が大きな出来事だったと思います。

周年行事はその後も何回も迎えています。学校の一つの節目というものです。120周年の時は、栗田先生を始め教職員の方々と何回も打合せを行い、今までの周年行事にはないものをとということになりました。一般的な内容を踏襲するのは簡単ですが、変えるのは多大なエネルギーが必要になります。いろいろな意見がある中で、栗田先生は教職員の方々をまとめてくださり、私たちPTAや同窓会と同じ方向を向いて実施することができました。

研究発表は学校での主要な活動で、PTAは裏方として支えることでした。この時栗田先生は強い指導力と柔軟な発想で教職員を牽引していき

ました。この時のテーマ「意欲・感動―その一言が子どもを変える―」は今の時代にも生き続ける内容だと思っています。また、この時の紀要は、従来の文字だけのものと違い、漫画や図などを多用し、教育の専門家だけでなく一般の人にも分かり易い内容となっていました。講評で、文部省(当時)の調査官が画期的な内容だと話され、文部省、東京都を始め全国の教育関係者から注目を集めたことが思い出されます。これは、厳しい中にも教職員の意見を吸い上げ形にしていった栗田先生の存在抜きには語れないものだと思います。

今学校に特色が求められています。栗田先生はまさに時代を先取りしていたように思います。この難しい時代での教育について、もっと栗田先生にお話しを伺いたいところでした。お話しする機会もなくお別れしたことが心残りです。

先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

*紀要とは

大学・研究所などで刊行する研究報告書・学術雑誌。

開校120周年の年は、いろいろな意味で充実した忙しい一年間でした。

今思えばある意味では華やかな時代だったと懐かしく思えます。

同窓会現組織もこの時に生まれ、現在に至っています。



(公報委員会)

児玉校長を偲ぶ

「杜の哲学者」の意志を継承
元教頭 平成8年～12年 古澤 昇



第24代 児玉潔夫校長
平成8年～12年度

児玉潔夫校長は、令和元年9月7日にご逝去されました。享年79歳、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

私は、平成8年4月から4年間、児玉校長(以下、先生)に教頭として仕えました。先生は、常に子どもを中心とした考え方で、新しい視聴覚機器の導入に力を尽くし、子どもが「楽しい・わかる・もつと知りた」授業の実現を教員に求めていました。その頃、まだ新しかった環境教育を校内研究にいち早く取り入れました。「子どもたちの心を育てる環境学習の授業づくり」への柔軟な発想の展開を教員に示唆し、子どもと一緒に汗を流しながら、校内の動植物生態系保全活動(カエルの産卵への道づくり、在来種の保全、連鎖草地づくり等)に没頭していた姿が思い浮かびます。

先生が、この環境教育を導入するきっかけとなったのは、開校120周年

に同窓会より寄贈された木菟(みみずく)のブロンズ像『杜の哲学者』だと聞いています。この像に託された諸先輩方の願いは、「①鹿島の杜の木菟が安心して巣くうような杜(環境)の再現を。②子どもたちの知性と学芸の育成を。③杜の哲学者として、学校や地域の平和と環境の維持を。教職員・保護者・地域の方をはじめ子どもたちに託す。」です。これは、これからの子どもたちへの教育で大切な、「知ることを学ぶ」「生きることを学ぶ」「共生することを学ぶ」ことへの警鐘と受け止めて、研究を3年間継続しました。

その結果、子どもたちの自然や動植物、資源・ごみ等生活に対する「気づく心」や「取り組む力」が大きく変容し、意欲と感動の高まりが見えてきました。さらに、教員の授業づくりが習熟し、授業に余裕が持てるようになり、「楽しい・わかる・もつと知りた」授業へと近づいてきたことを先生が、平成11年度の研究発表会挨拶の中で話されたことを鮮明に覚えています。

先生は、きっと、遠い空の彼方から『杜の哲学者』の思いで、子どもたちを見守っていることと思います。





テレビで活躍する

プロ囲碁棋士

昭和57年竹組卒 靱持 丈士



靱持丈氏はNHK囲碁講座「囲碁フォーカス」で2019年9月〜2020年3月まで講師を務められた日本棋院所属の棋士（八段）で、因みにお父様の靱持博氏も和裁の伝統工芸士として品川区のホームページで紹介されている厚生労働省認可「ものづくりマイスター」です。人づてに靱持さんが大井第一小学校の同窓生と知り、今回のインタビューをお願いすることになりました。

インタビューアー 大野正恒

靱持 住居の関係で小学1〜4年までは山中小学校に在籍していましたが、大井4丁目に引っ越したことから5年生の時に大井第一小学校に転校し卒業しました。第一小学校の時の担任は柳村先生でした。先生はその当時に結婚され後に校長になられたと聞いています。第一小学校卒業後は、伊藤中学校に進みました。

大野 親が囲碁をやっているその影響で子どもが始めるケースが多いように思われますが？

靱持 囲碁を始めたのは幼稚園年長の時に父に連れられて、大井3丁目にあった碁会所「妙碁クラブ」に行ったのがきっかけです。当時囲碁をやっていたのは父が将棋をさせるつもりで行ったのですが、碁会所だったため囲碁の手ほどきを受け、面白かったのでそのまま続けることになりました。小学校2年生から日本棋院の養成所に属し、プロを目指す道を歩み始めました。正直、学校の授業は必要なかったため、学校の授業が終わったら直ぐに帰宅し碁会所に行くという生活でした。

大野 頭が良かったのですか？

靱持 小学生時代の成績は父が教えてくれた算数以外は全くだめでした。日曜日に有楽町交通会館で「楽翔会」という囲碁教室をやっていて、現在では父がその生徒になっています。「楽翔会」は以前大井町の「きゅりあん」でやっていました。

大野 NHKの番組に出るようになったきっかけは？

靱持 NHK囲碁講座への出演は番組のプロデューサーとゴルフで一緒にラウンドすることが何回もあり、それがきっかけとなったようです。話し方が適切と思われたようです。この番組は国内だけでなく世界に放送されており、囲碁の普及に多少でもお役に立てるのではないかと引受けた次第です。

大野 同窓会としては、活性化の為にクラス会を開くようにお願いしているのですが、クラス会は開いていますか？

靱持 卒業後何回か連絡がありました。若し時は忙しくて余裕が無く出席できませんでした。プロになって、今は出たいのですがクラス会の連絡はありません。

大野 NHK囲碁講座は、どのレベルの方を対象にしているのですか？

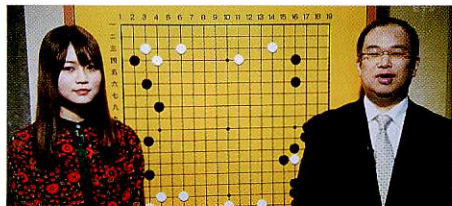
靱持 初段程度の方を中心にしてはいますが、上位、下位の方にも為になるように、分り易く説明しています。特に手筋を重視しています。

大野 最近AIで囲碁も機械のほう人間より強くなっていますね。

靱持 AIには敵いませんし、そもそも人とAIを比較する意味はありません。AIもうまく取り入れれば良い。例えば人間が自動車より速く走れるわけがありませんから、機械と比べる必要はないと思っています。それぞれの良い部分悪い部分を見極めてうまく取り入れれば良いと思います。

NHK囲碁講座は毎週日曜日昼12時〜12時30分にEテレにて放映されています。

取材日 令和2年1月14日（火）
会報委員
大野・杉本・榎原



医療法人財団 太光会
内科・循環器内科・ペインクリニック
柿島 医院
【受付時間】月曜・火曜・木曜・金曜 9:00〜17:30
土曜（第2・第4のみ） 9:00〜15:00
※12:00〜13:30は昼休憩
【休診日】水曜、日曜、祝日、土曜（第1・第3・第5）、夏期及び年末年始
大井3-21-10 83775-5171

医療法人社団公孫堂
内科・循環器内科・糖尿病内科
小児科・小児アレルギー科 **安澤 医院**
〒140-0014 東京都品川区大井 5-14-4
TEL. 内科 03-3772-5757 小児科 03-6303-7080
FAX. 03-3772-5655

同窓生割引有
大井第一小学校前 小出不動産
創業68年になりました！
相続問題から土地の有効利用など
不動産の事ならお任せください！
0120-513-117
140-0014 東京都品川区大井5-10-9

物故者

情報をいただいた方を順次掲載して
ます。謹んでお悔やみを申し上げます。

卒業年組 氏名 逝去年月日

元校長	黒田彦治	H29
元校長	栗田敦子	不詳
元校長	兒玉潔夫	R元97
元校長	佐々木重雄	H28122
元教員	立元敏雄	H311
元教員	岡田明子	H30
元教員	森下柚子	不詳
元教員	松原二郎	H21
S11雪	竹内富士子	R元623
S13月	新居章三	不詳
S14松	稲垣昭次	不詳
S14梅	井手和子	H301214
S14雪	山本俊子	H30
S17雪	川崎瑠璃子	H295
S18松	岡田清	H30625
S18月	門脇士宗	H287
S19竹	今井隼	H31119
S20男	有村公棟	H29620
S25竹	斉藤高子	H306
S26松	小林輝年	不詳
S26竹	萩原昌子	R元2326
S27竹	長内顕	R元12
S29竹	徳永典義	不詳
S33竹	後藤浩	H28622
S35花	滝浪誠	不詳
S37星	秋本重司	R元114
S43松	山本久利	不詳

前号で報告いたしました、柳村
公英先生の逝去日に誤りがありま
した。
正しくは、H3044です。
訂正して、お詫び申し上げます。

同窓会会員通信欄

昭和15年組卒 代田 益穂

○今年も品川の大志満に集まりました。3人にへりました。杖を使うようになりましたが、ガンバツています。

昭和16年竹組卒 小島 昭信

○いつも会報をありがとうございます。ますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

昭和18年梅組卒 磯部 敏江

○5年分5000円振込みいたしました。

昭和18年雪組卒 山崎 良子

○会報に原睦夫さんのお名前がありました。昭和12年に入学してから一年間竹組で一緒にいました。2年生から男女別になりました。

昭和21年女組卒 三浦 慶子

○猛暑の中でのご運営に心より感謝を申し上げます。

昭和25年梅組卒 吉村 陽子

○同窓会報いつもありがとうございます。今回は松崎先生の特報記事を楽しくなつかしく読みました。

昭和26年松組卒 櫻井 忠敬

○いつもお世話になり感謝しています。

昭和32年月組卒 新井 清子

○後期高齢者の仲間入りをしました。同期会での皆さんの明るく元気な姿に励まされ、趣味のパッチワークや歌を楽しみながら過ごしていこうと思っております。

昭和35年竹組卒 上野 良子

○いつもありがとうございます。

昭和47年梅組卒 豊邊めぐみ

○すっかり上州人になりましたが、大切な大井の我が家を残していくために奮闘しております。子供・孫に引継ぎたいです。是非第一小に……

昭和42年雪組卒 志村 利江

○幹事の皆様いつもお世話様です。

昭和46年雪組卒 石田 祥子

○いつも楽しい会報をありがとうございます。今年の後藤正典先生の卒寿のお祝いで集まりがありました。私は参加できなかったのですが、みんなが写真を送ってくれて先生のお元氣そうな様子が嬉しく思いました。

同窓会会報に広告を掲載しませんか

前号から、同窓生の皆様のご協力をいただき、
広告を掲載することになりました。

- ・サイズ縦3cm×横9cm
- ・掲載費 1 枠10,000円
- デザインは既存の物・オリジナル作成の物どちらもOK
- 申し込み先 井上のPCアドレスへ

「通路で辿るもう一つの伊豆」



(株)文芸社 2020年1月15日発行
ISBN (978-4-286-21276-0)
全国どちらの書店からでも注文可能
定価 450 + 税
著者 昭和41年松組卒業生 新井俊夫

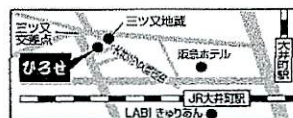
地元へ奉仕する店

Acc21(有)アクツ電気

本店 品川区大井3-5-7 (三ツ又本通り) ☎ 3773-1062
リフォーム・各メーカーの修理承ります

割烹 とんかつ

ひろせ



お座敷一間にて60名様がお座りいただける宴会に対応しております。お弁当、お届けしております。
品川区大井4-1-2 TEL 3771-7466 FAX 3778-7693

Keihin Printing Company 企画・デザインから製本までの一貫したシステムで
皆様のお手伝いをいたします。

京浜印刷株式会社

- ◆営業品目◆
- パンフレット チラシ
- 広報誌 封筒
- プログラム ポスター
- その他製本まで

〒140-0013 東京都品川区南大井4丁目7番3号
Tel:03-3763-7321(代表) Fax:03-3764-6839 E-mail:keihin@sirius.ocn.ne.jp

霊安室完備
事前相談承ります

品川合同葬祭株式会社

代表取締役 猪飼 英介

0120-478-594

東京都品川区東大井5-25-19

24時間365日対応
お電話ください

同期会・クラス会報告

恩師なきあとも続く「だるま会」

昭和33年月組卒 天野 敏彦

鹿島の森に大井囃子の音色が鳴り響き、宮本の大神輿が担がれる秋の大祭は、子ども時代に大井で育った者にとって郷愁を覚え、心騒ぐものがあります。この祭りの日は、又、大井第一小で開催される『同窓生の集い』があり、同窓と語り合える楽しい日です。この日、神輿の掛け声につられるようにして、第一小を後にして、鹿嶋神社まで神輿と一緒に歩き、宮入りを最後に見届けてから恒例の「だるま会」を開きました。



ですが、先生を慕い、昔話に花を咲かせる仲間との交流が続いています。

「だるま会」とは、恩師、木村孝一先生のニックネームからつけたクラス会です。会長であった先生は、すでに鬼籍に入られて十五年になりま

「だるま会」がここまで続けてこられたのは、幹事長であった石毛美喜夫君勝俣正子さんの功績によりです。連絡がつかない仲間であっても、会を重ねることに参加者が増え、楽しみが広がっていき、55名中32名の所在が明らかになりました。残念ながら7名の仲間を鬼籍に送ることに成り、その都度、出席できる仲間、通夜、告別式に参列して、「だるま会」の名で献花して悲しい別れをしてきました。今年は何十年振りか、書家の真柄隆子さんの出席があり、京都在住の画家の辻京子さんと連絡が取れるようになったりと、まだまだ仲間との繋がりが広がっています。



れ、小学校時代はそれほど付き合っていない人間関係であっても、その後のクラス会での出逢いで繋がっていくことをみていると、恩師の蒔いた種が育っていると感じる今日この頃です。

この会の礎は、恩師、木村先生の著書「たねをまいて……」にあると思います。仲間を思い、仲間を大切にしたい、仲間と繋がって行く教えは今も脈々と流

昭和37年卒梅組クラス会

昭和37年梅組卒 梧桐 与子 白倉 裕

日時 令和元年10月24日(木)
場所 ドンピエール銀座本店



守田先生を囲んで開催されるクラス会。もう何回目になるでしょうか？

今回は銀座でフランチ料理とワインを楽しみました。92歳になられた先生、本当にお元

気です。少しわかりにくい店の為、我々の仲間のうち3〜4人は「近くの〇〇にいるけど、ここからどう行ったら良い？」と携帯に連絡が入り、幹事は其の度に右往左往！ところが守田先生は一人でスーッと来ていただきました。この一年の近況報告では、いろいろな物の整理をした人、海外在住の娘に二人目の孫が生まれ、ご主人と二人でお手伝いに駆け付けた人、毎週6000メートルも泳いでいる人

週に3回スポーツジムで鍛えている人、息子のお店を手伝っている人、そして今の世相を反映して、まだまだ現役で頑張っていて「平日のクラス会は無理！」と返信をくれた方々。皆、夫々にチャレンジ精神旺盛のメンバーの話にあつという間の2時間でした。来年は「古希」再会を約束し、楽しいクラス会となりました。

昭和38年卒雪組クラス会

昭和38年雪組卒 山田 良二

日時 平成31年4月20日(土)
場所 吉田屋(蕎麦屋)

卒業以来、半世紀ぶりの初めてのクラス会を大井町の吉田屋で開催できました。出席人数は8名(女性1名)の参加になりました。



当日、仕事の都合や息子さんの結婚式の為欠席された方が3〜4名おりましたが、卒業以来初めてお会いする方ばかりでとても懐かしく食事、お酒を楽しみながら全員で昔話に花を咲かせられました。次回の幹事も決め、早い時期に第2回

目のクラス会を開くことになりました。今回参加できなかった方々にも次回は揃って再会を果たしたいと思えます。令和2年には古稀を迎える方もいらっしゃるので盛大に開催できればと存じます。

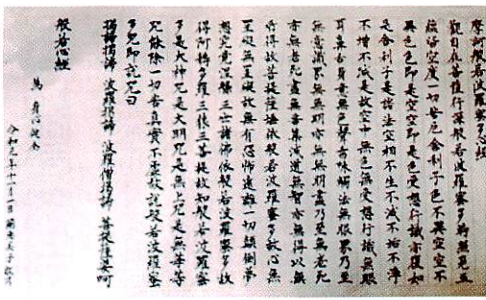
昭和47年卒なごり雪云

昭和47年雪組卒 大石ゆかり

「還暦の時」

早いもので、大井第一小学校を卒業して48年の歳月が過ぎました。私達は、昭和41年4月に入学し昭和47年3月に卒業致しました。そして今年は今令和元年、記念となる新年号の年に還暦を迎えることとなりとても嬉しく思います。

また、六年雪組関恵美子先生に担任して頂きました私達なごり雪会のクラス会も今年で28回目となりました。皆、様々な状況の中参加して頂き楽しいひと時を過ごすことができました。



関先生には還暦の祝辞を頂き、更には皆の健康を祈って一人一人に『写経』を書いて下さいました。まるで印刷したように美しく、手書きとは思

えないほど揃っている写経に皆驚き、同時に感謝し、額などに飾りそれぞれ大切なものとなっています。

私達が還暦にいたるまで先生が元気でいらつしやることやお祝いに写経を書いてくださったこと、今もなお先生が大切なことを教えてくださることはとても幸せであると感じております。来年もまた先生を囲み、同窓会に参加できることを楽しみにしております。

クラス会・同期会支援

クラス会・同期会を開催され、左記の事項にご協力をいただいた場合は、同窓会より補助金を差し上げます。

当補助金制度の仕組み

- ①クラス会・同期会報告投稿
 - ・開催報告記事(400字以内)
 - ・出席者の集合写真(数名以上)
 - ・クラス又は同期の最新名簿
 - ・幹事の卒業年・氏名・住所
 - ②幹事へ補助金5千円送付
 - ③回数と期限
 - ・1クラス会又は1同期会につき1回/年
 - ・2020年4月～2021年3月20日まで投稿受付
 - ④送付先 平林幹夫宛
- *尚、投稿していただいた記事と写真とは同窓会会報又はホーム・ページに掲載いたします事をご了承下さい。

第14回総会報告

日時 2020年5月23日(土) 14時
右記のように予定していましたが通常総会ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で、社会的規範のもと中止とさせていただきます。議事決議は、同窓会会則第7章第26条(緊急の対応)に基づき、会長・副会長が決定し理事会へ報告しました。

- ①事業報告・収支決算報告及び監査報告の承認
- ②事業計画及び収支予算の承認

項目	金額	項目	金額
(収入の部)		事業費雑費	30,000
会費収入	1,097,500	事業費計	1,021,690
入会金収入	40,200	[管理費]	
寄付金収入	130,000	会議費(管)	2,120
雑収入	10,911	通信運搬費(管)	0
①当期収入計	1,277,711	事務用品代(管)	20,625
(A)前期繰越収支額	2,270,664	減価償却費	27,172
②収入計	3,548,375	管理費雑費	5,529
(支出の部)		管理費計	55,446
[事業費]		③当期支出計	1,077,136
秋季大会費(事)	5,229	(B)当期収支額①-③	200,575
会報出版費(事)	559,270	[当期特別支出]	
名簿管理費(事)	0	減価償却費	190,212
広報費(事)	7,642	④当期特別支出計	190,212
会議費(事)	3,380	(B)当期収支差額(B)-④	10,363
通信運搬費(事)	396,169	次期繰越収支差額	2,281,027
クラス会補助金(事)	20,000	(A)+(B)	

詳細報告はホームページに掲載済。

第15回総会のお知らせ

日時 2021年5月22日(土) 14時
場所 大井第一小学校
*一昨年度より、通常総会を毎年5月の第4土曜日に開催することになりましたが、都合により変更になる可能性もありますので、ホームページにてご確認の上、ご出席願います。

会費納入のお願い

同窓会事業を継続していくには、会報等の印刷代、通信費、事務費、母校に関わる慶弔費等の諸経費がかかります。令和元年度の会費納入者は五五九名で約六、三〇〇名に会報第22号を送ることができました。これからも安定した同窓会活動を続けていくために、会費納入に皆様のご理解とご賛同を心よりお願い申し上げます。

一口 1,000円
同封の振込用紙をご利用頂き、左の口座に9月末までにお振り込み下さい。
00東京00170-0-12254
大井第一小学校同窓会
ATMでの振込をお奨めします
窓口振込203円・ATM振込152円というように、ATMで振り込むと51円の節約になります。



第11回同窓生の集い報告

令和元年10月20日(日) 11時～15時、大井第一小学校多目的室に於いて開催しました。



今回の講演会は大井6丁目在住の同窓生、中島和友氏による「80年前の鹿嶋神社周辺」と題したお話でした。大田区との区界から大井第一小学校に至るまでの池上通りの商店や大森貝塚について等、現在の風景とは異なる懐かしい風景をお話の中から想像させていただくことができました。



講演会の最後に、昭和17年時に3年生で書展で金賞を受賞された作品を寄贈してくださいました栗本英子さんからもお言葉をいただきました。戦中から十数回もの転居を重ねて来たにもかかわらず、奇跡的に手元に保管されていた宝物の作品であるという内容のお話でした。

写真展は「大井町今昔」というように、同地点の現在と昔の大井町の比較写真や鹿嶋神社での相撲大会や中島氏らの疎開時の写真、栗本さんの作品等多数の展示をいたしました。

〔同窓生の集い〕実行委員会

★ ★ ★ ★ ★ 寄稿のお礼と投稿のお願い ★ ★ ★ ★ ★

皆様のご協力で、会報第22号を発行することができました。寄稿して下さいました皆様、有難うございました。紙面の都合上割愛した箇所がありましたことをご了承願います。思い出等随時投稿をお待ちしています。3月20日までに事務局宛に郵便又はメールでお送りください。

名簿の資料提供にご協力を

名簿委員会では、会報をお送りするために、「個人情報保護法」に則り、同窓会員の皆様の自宅住所、電話番号の個人データを厳重に管理し、保持しています。

転勤、転居、結婚等により変更となる場合には、事務局までお知らせ下さい。(ホームページからも可)住所不明者の消息につきましては、今後も更なる皆様のご協力をお願いいたします。

連絡先はホームページ内、または事務局・大野宛お送りください。

同窓会の運営にご協力を!!

同窓会では母校を支援しつつ、同窓生の親睦を図るべく活動しております。学校行事や授業への協力等児童とふれあう機会も増えています。さらに活発な活動を続けて行く上で、運営に参加して頂ける方を募集しております。

編集後記

今号は「オリンピック・パラリンピック」特集記事を考えておりましたが、開催延期となりましたので、次号で扱う予定です。

今年前半は、世界中が新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な対策が取られて不自由な思いをしました。子どもたちも環境の変化に順応するのが大変だったと思います。

そのようなことも関係して、今号は暗いニュースが多くなってしまいました。次号では明るいニュースをお届けできれば良いと思います。皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。投稿をお待ちしています。

編集委員

昭和14年卒	津田 照通
昭和30年卒	木村 親光(イラスト)
昭和34年卒	森 秀雄
昭和35年卒	平林 幹夫
昭和35年卒	杉本 晴重
昭和39年卒	住友 光男
昭和42年卒	井上 幸子



同窓会事務局

同窓会ホームページをご覧ください。

URL <http://oildoso.net>

- 大野 正恒 (名簿担当)
TEL・FAX 03-3772-5527
E-mail wpjny726@yahoo.co.jp
- 住友 光男
TEL 090-5750-2602
E-mail m.sumitomo@poplar.ocn.ne.jp
- 平林 幹夫 (ホームページ担当)
TEL 03-3772-9031
E-mail mikihira@e2.gmob.jp
- 井上 幸子 (会報担当)
TEL・FAX 03-3775-6596
E-mail yama_sachiko_i_0209@festa.ocn.ne.jp

品川区立大井第一小学校
〒140-0014 東京都品川区大井 6-1-32
TEL 03-3771-5240

